

生誕300年記念

伊 藤 若 冲

—京に生きた画家—

平成28年6月25日(土) — 9月4日(日)

細見美術館

開催趣旨

奇想の画家として知られる伊藤若冲は、江戸時代中頃の正徳6年(1716)に京都・錦小路高倉にあった青物問屋「枹屋」の長男として生まれました。数え年23歳の時、父の死去に伴い家督を相続し四代目を継ぎますが、40歳を機に弟に家督を譲り、絵画制作に没頭します。その個性的な画風は、さまざまな絵師がその腕を競い合っていた都市・京において大きな注目を集め、評判を呼びました。その後若冲は、天明8年(1788)に大火により被災し、一時大坂に身を寄せますが、晩年は深草の黄檗寺院・石峰寺の門前に隠棲、寛政12年(1800)に85歳で亡くなるまで絵画三昧の人生を送りました。

贅沢な材料をふんだんに使い、技を凝らして描かれた精緻かつ大胆なその作品は、観る人を圧倒する「氣」に満ちています。また一方で、墨の濃淡や筆勢、紙の特性を活かした水墨画には、ユーモラスな視点や生き物を慈しむ優しい眼差しが感じられます。

それまでの日本の絵画にない奇抜なモチーフ、独創的な画面構成や絵画技法を駆使して創作を行った江戸美術を代表する画家の一人として、若冲は時代や国を超えて見る人に強い印象を与え続けています。

生誕300年を機に行います本展では、若冲が生まれ、生きた京都で開催する展覧会として、細見コレクションの若冲作品のみならず、ゆかりの場所や作品の紹介、弟子らの作品も併せて展示することで、若冲の魅力的な世界をより実感していただける機会となるでしょう。



糸瓜群虫図 絹本着色 1幅

主な出品作品

伏見人形図
紙本着色 1幅仔犬に箒図
紙本墨画 1幅雪中雄鶏図
紙本着色 1幅花鳥図押絵貼屏風(左隻)
紙本墨画 六曲一双のうち

※すべて細見美術館蔵

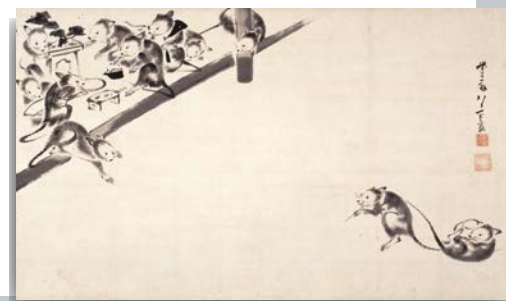
会期中のイベント

有料・事前申込制

アートキューブレクチャー

8月6日(土) 14時～

講師：狩野博幸氏(美術史家)



鼠婚礼図 紙本墨画 1幅

入館料：一般 1200円(1100円)
学生 1000円(900円)
※()内は20名様以上の団体料金

休館日：毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)

開館時間：午前10時～午後6時
(入館は、午後5時30分まで)

会 場：細見美術館

お問合せ先：担当学芸員 福井麻純
gakugei@emuseum.or.jp

広報担当 三宅由紀
kouhou@emuseum.or.jp

The 300th Anniversary of his Birth: Jakuchu